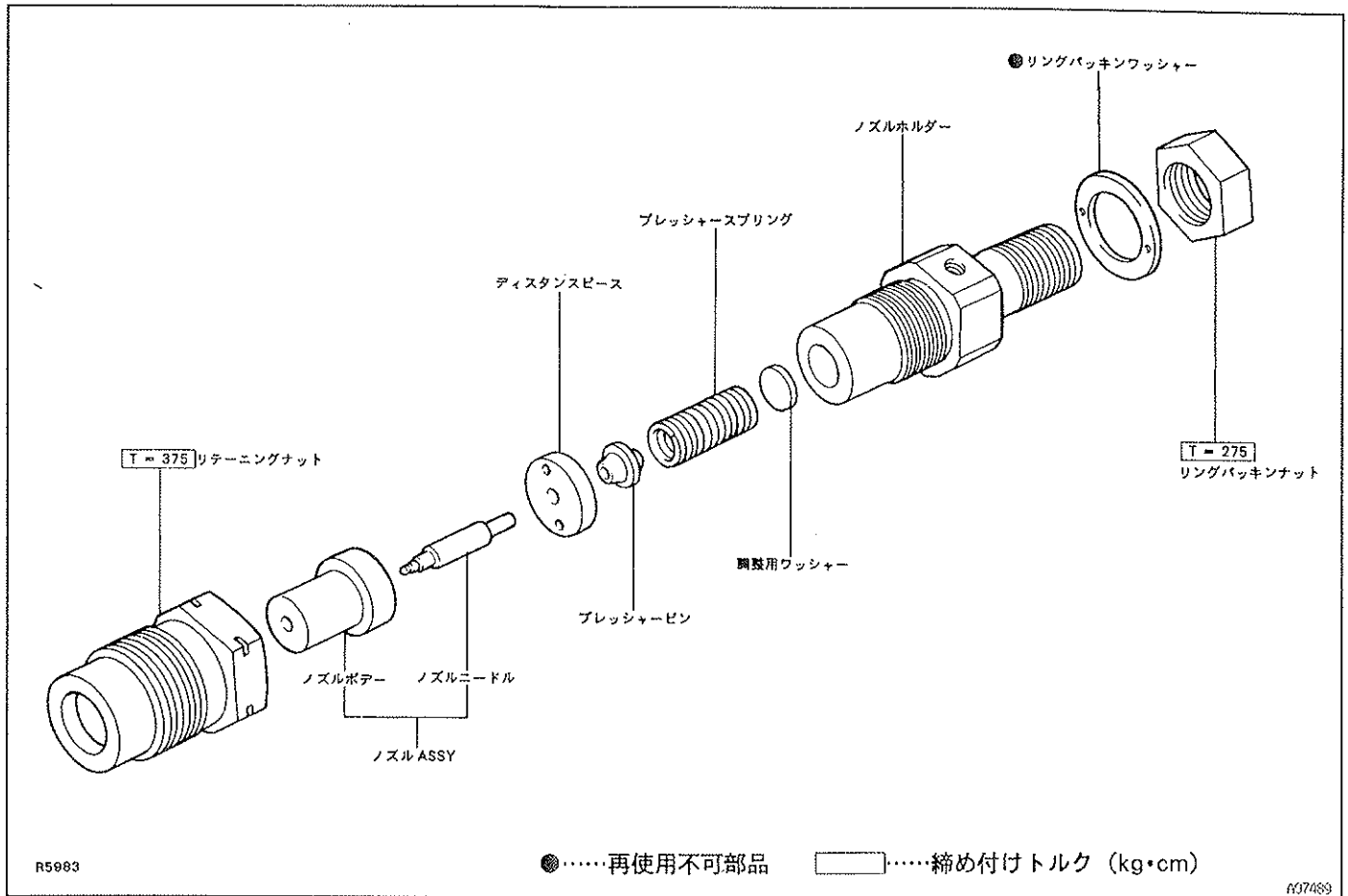


2 フューエルシステム

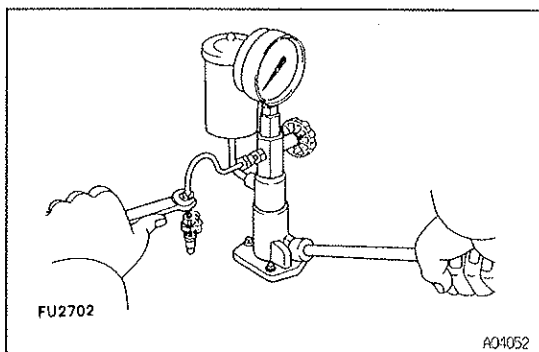
準備品	2 - 2
インジェクションノズル	2 - 3
分解構成図	2 - 3
インジェクションノズル ASSY 点検	2 - 3
ノズルホルダー アンド ノズルセット分解	2 - 4
インジェクションノズル点検	2 - 5
ノズルホルダー アンド ノズルセット組み付け	2 - 5

インジェクションノズル

分解構成図



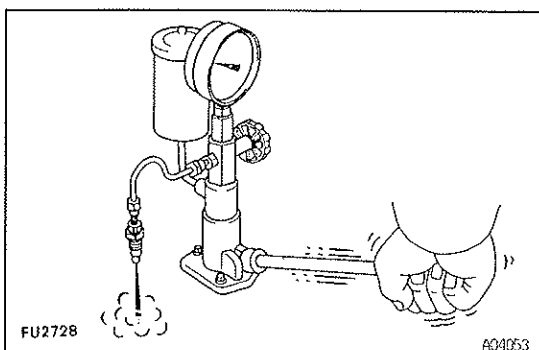
637483



インジェクションノズル ASSY 点検

1 噴射圧力点検

(1) ノズルテスターに、インジェクションノズルを取り付ける。



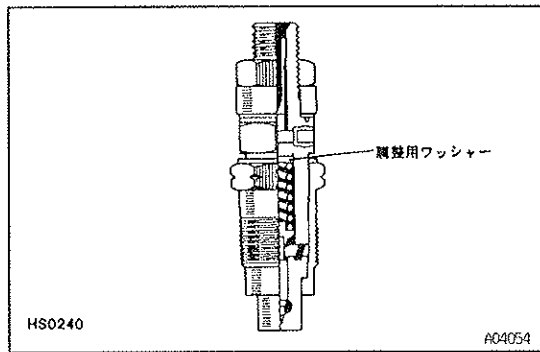
(2) ノズルテスターのレバーを早く動かし、2～3回噴射させて噴射口部のカーボンを吹き飛ばす。

(3) ノズルテスターのレバーをゆっくり押して圧力を高めていき、圧力計の指針が急に下降する瞬間の圧力を測定する。

基準値 再使用時 145～155kg/cm²

新品時 151～159kg/cm²

基準値外の場合はノズルを分解し、ワッシャーを交換して調整する。

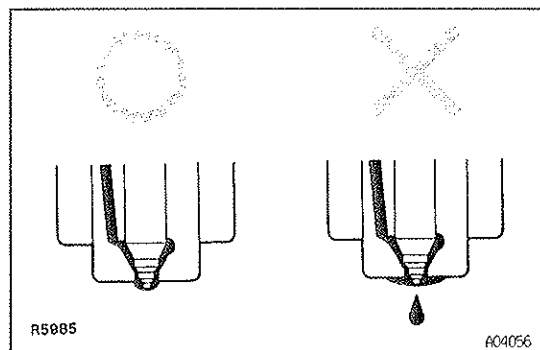
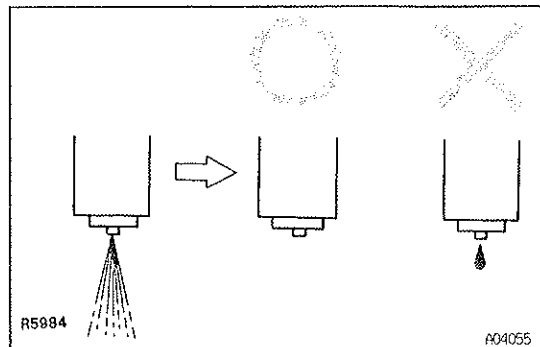


- (4) 基準値以下の場合はワッシャーを厚くし、以上の場合はワッシャーを薄くする。

〈参考〉 ・ワッシャーは 0.900～1.950mm の範囲で、0.025mm ごとに 43 種類ある。

・ワッシャーの厚さを 0.025mm 増減することで、約 3.73kg/cm² 噴射圧力が変化する。

- (5) 噴射後、後だれがないことを確認する。



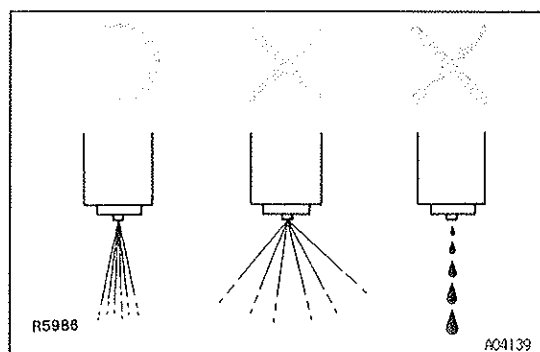
2 油密点検

- (1) ノズルテスターのレバーをゆっくり押して、圧力を 130～140 kg/cm² まで上昇させて約 10 秒間保持した後、ノズルの噴射口部およびリテーニングナット部から燃料漏れのないことを確認する。
漏れのある場合は、分解して清掃または交換する。

3 噴射形状点検

●注意 ● ノズルテスターのレバー速度は、1～2秒/1降下で行う。

- (1) 連続的に噴射した状態でノズルの噴射形状を点検する。
(2) 後だれのないことを確認する。
不良の場合は、分解、洗浄後再点検する。または、ノズルを交換する。



ノズルホルダー アンド ノズルセット分解

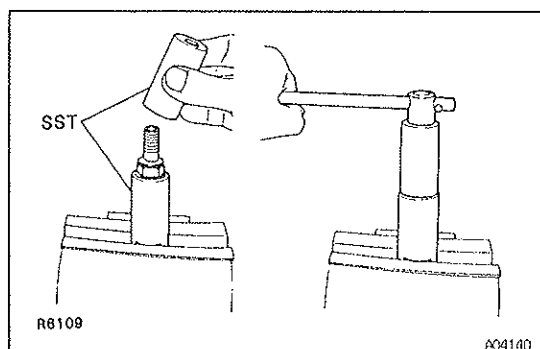
1 ノズルホルダー アンド ノズルセット分解

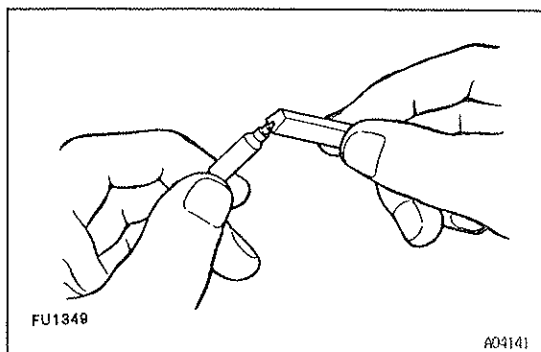
- (1) SST を使用して、リテーニングナットを取りはずす。

S S T 09268-64020 09268-64030

- (2) 調整用ワッシャー、プレッシャープリング、プレッシャーピン、ディスタンスピースおよびノズル ASSY を取りはずす。

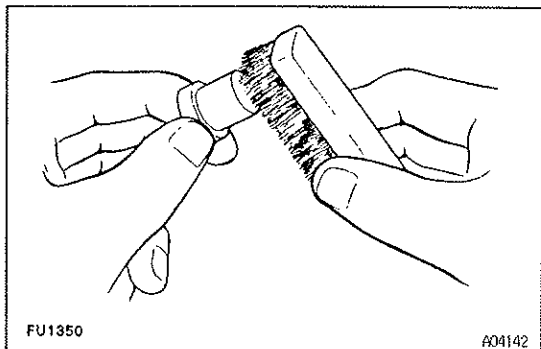
●注意 ● 分解中、内部の部品を脱落させない。



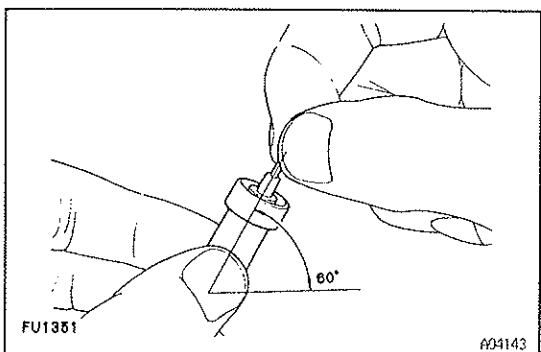


2 インジェクションノズル清掃

- (1) ノズルニードルの先端に付着したカーボンを硬質の木片で清掃する。



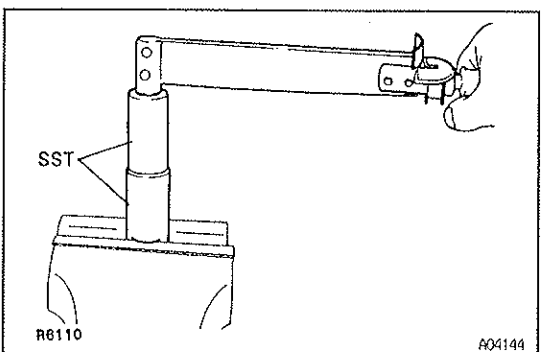
- (2) ノズルボデー外側のカーボンを真ちゅうブラシで清掃する。



インジェクションノズル点検

1 沈降テスト

- (1) ノズルボデーとノズルニードルをきれいな軽油で清掃する。
 - (2) ノズルボデーを約 60° 傾けてノズルニードルを約 1/3 抜きだす。
 - (3) ノズルニードルから手を離れたとき、ノズルニードルが自重で円滑にノズルボデー内に沈むことを確認する。
 - (4) ノズルニードルを少しずつ回して、テストを繰り返す。
- 沈降しない箇所のあるときは、ノズルボデーとノズルニードルをセット（ノズル ASSY）で交換する。



ノズルホルダー アンド ノズルセット組み付け

1 ノズルホルダー アンド ノズルセット組み付け

- (1) リテーニングナットにノズル ASSY、ディスタンスピース、プレッシャーピン、プレッシャースプリングを取り付ける。
- (2) ワッシャーをノズルホルダーに取り付け、ノズルホルダーをリテーニングナットに仮締めする。
- (3) SST を使用して、ノズルリテーニングナットを締め付ける。

S S T 09268-64020 09268-64030

T=375kg・cm

注意 締め付け過ぎると、変形したり、ニードルが固着したりして、作動不良となる場合がある。

2 噴射圧力点検、油密点検および噴射状態点検

3 ルブリケーションシステム

準備品	3 - 2
オイルポンプ （タイミングギヤケース）	3 - 2
分解構成図	3 - 2
オイルポンプ（タイミングギヤケース）分解	3 - 3
オイルポンプ（タイミングギヤケース）点検	3 - 3
オイルポンプ（タイミングギヤケース）組み付け	3 - 4

準備品

T0022882

計 器

直定規	22101	サイドクリアランス点検用
-----	-------	--------------

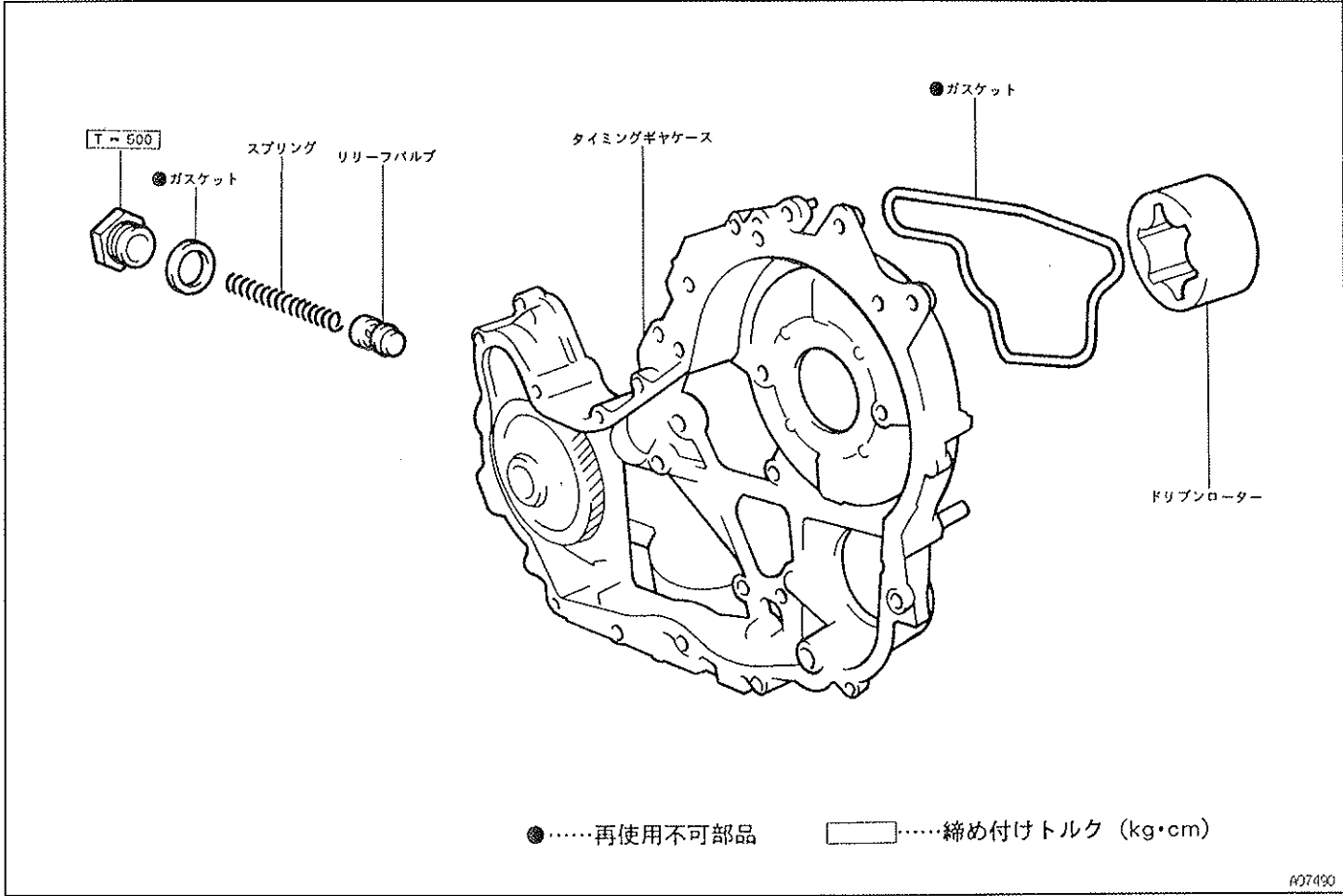
油脂・その他

ペイント	51102	ドリブンローター脱着用
------	-------	-------------

オイルポンプ
（タイミングギヤケース）

T0022884

分解構成図

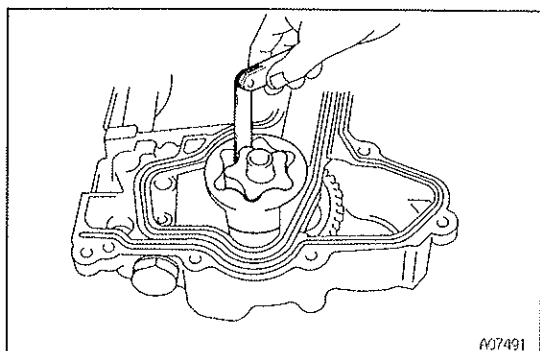


オイルポンプ（タイミングギヤケース）分解

- 1 オイルポンプリリーフバルブ取りはずし
 - (1) プラグをはずし、ガスケット、スプリングおよびリリーフバルブを取りはずす。
- 2 ドリブンローター取りはずし
 - (1) ドリブンローターのエンジン側にペイントでマークを付ける。
 - (2) ドリブンローターを取りはずす。

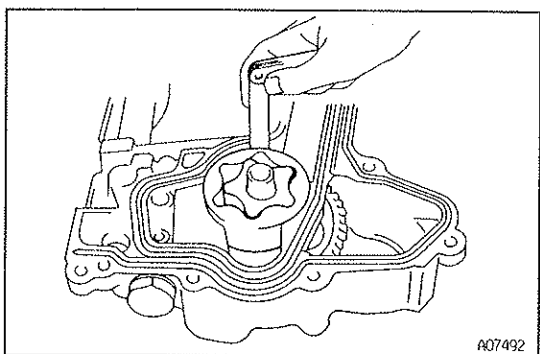
オイルポンプ（タイミングギヤケース）点検

- 1 リリーフバルブ点検
 - (1) リリーフバルブ当たり面の摩耗、損傷を点検する。
 - (2) リリーフバルブスプリングの損傷を点検する。
- 2 ドリブンローターおよびタイミングギヤケース点検
 - (1) ドリブンローターおよびタイミングギヤケース（ドライブローターおよびボデー当たり面）の摩耗および損傷を点検する。



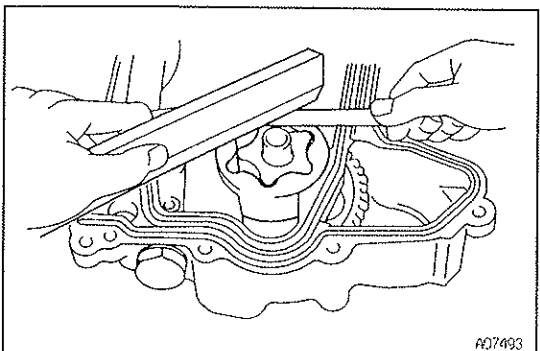
- 3 チップクリアランス点検
 - (1) シックネスゲージを使用して、ドリブンローターとドライブローターのすき間を測定する。

基準値	0.06～0.16mm
限度	0.21mm



- 4 ボデークリアランス点検
 - (1) シックネスゲージを使用して、ドリブンローターとボデーのすき間を測定する。

基準値	0.10～0.17mm
限度	0.20mm



- 5 サイドクリアランス点検
 - (1) シックネスゲージと直定規を使用して、ドリブンローターとボデーのすき間を測定する。

基準値	0.03～0.09mm
限度	0.15mm

オイルポンプ（タイミングギヤケース）組み付け

1 ドリブンローター取り付け

- (1) ドリブンローターのペイントマークをエンジン側に向け，取りはずしたときと同じ方向で取り付ける。

〈参考〉 ドリブンローターには方向性はないが再使用する場合は同じ方向で組み付ける。

2 オイルポンプリリーフバルブ取り付け

- (1) タイミングギヤケースにリリーフバルブおよびスプリングを取り付ける。
- (2) 新品のガスケットを介して，プラグを取り付ける。

$T=500\text{kg}\cdot\text{cm}$

4 クーリングシステム

準備品	4 - 2
ウォーターポンプ	4 - 2
分解構成図	4 - 2
ウォーターポンプ点検	4 - 2
サーモスタット	4 - 3
サーモスタット点検	4 - 3

準備品

T0023040

計器

温度計

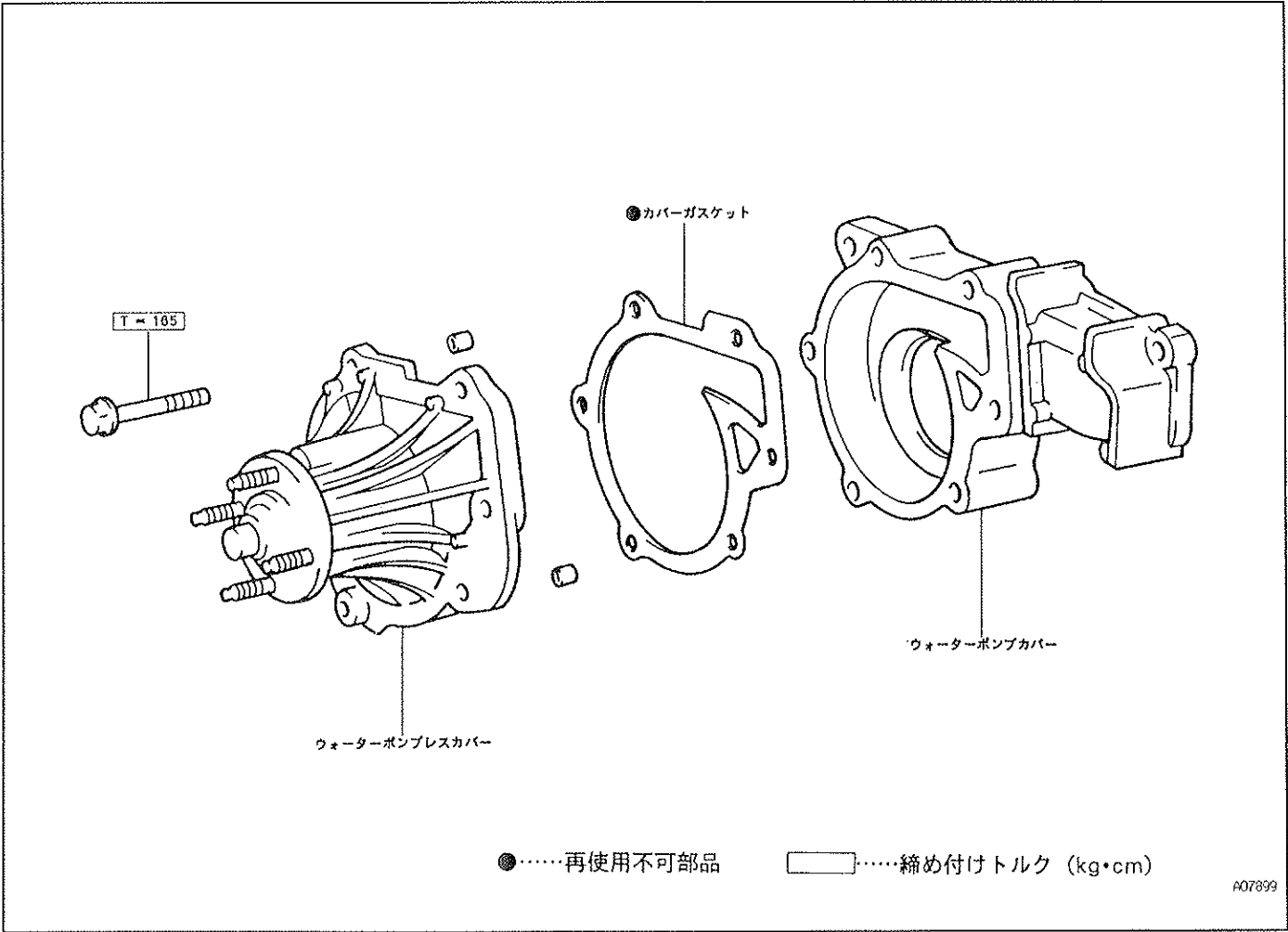
21701

サーモスタット点検用

ウォーターポンプ

T0023025

分解構成図



ウォーターポンプ点検

1 ベアリング点検

(1) ベアリングの異音, 引っかかりがないことを確認する。

サーモスタット

サーモスタット点検

1 サーモスタット点検

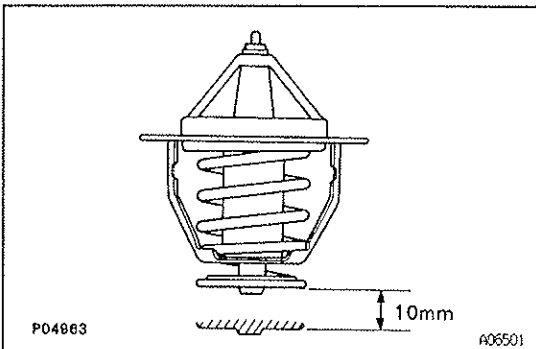
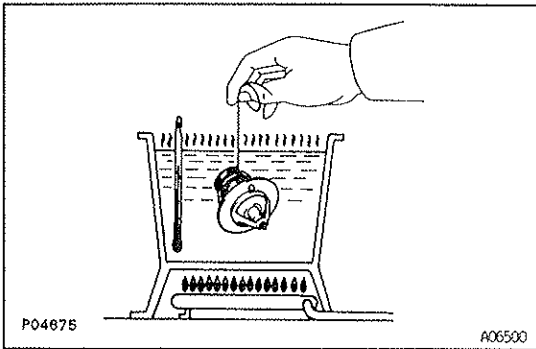
- (1) サーモスタットを水に浸し徐々に加熱する。
- (2) バルブの開き始めおよび全開温度を測定する。

基準値 開き始め温度 80～84℃

全開時温度 95℃

- (3) サーモスタットを引き上げて、すばやく全開寸法を測定する。

基準値 10mm以上



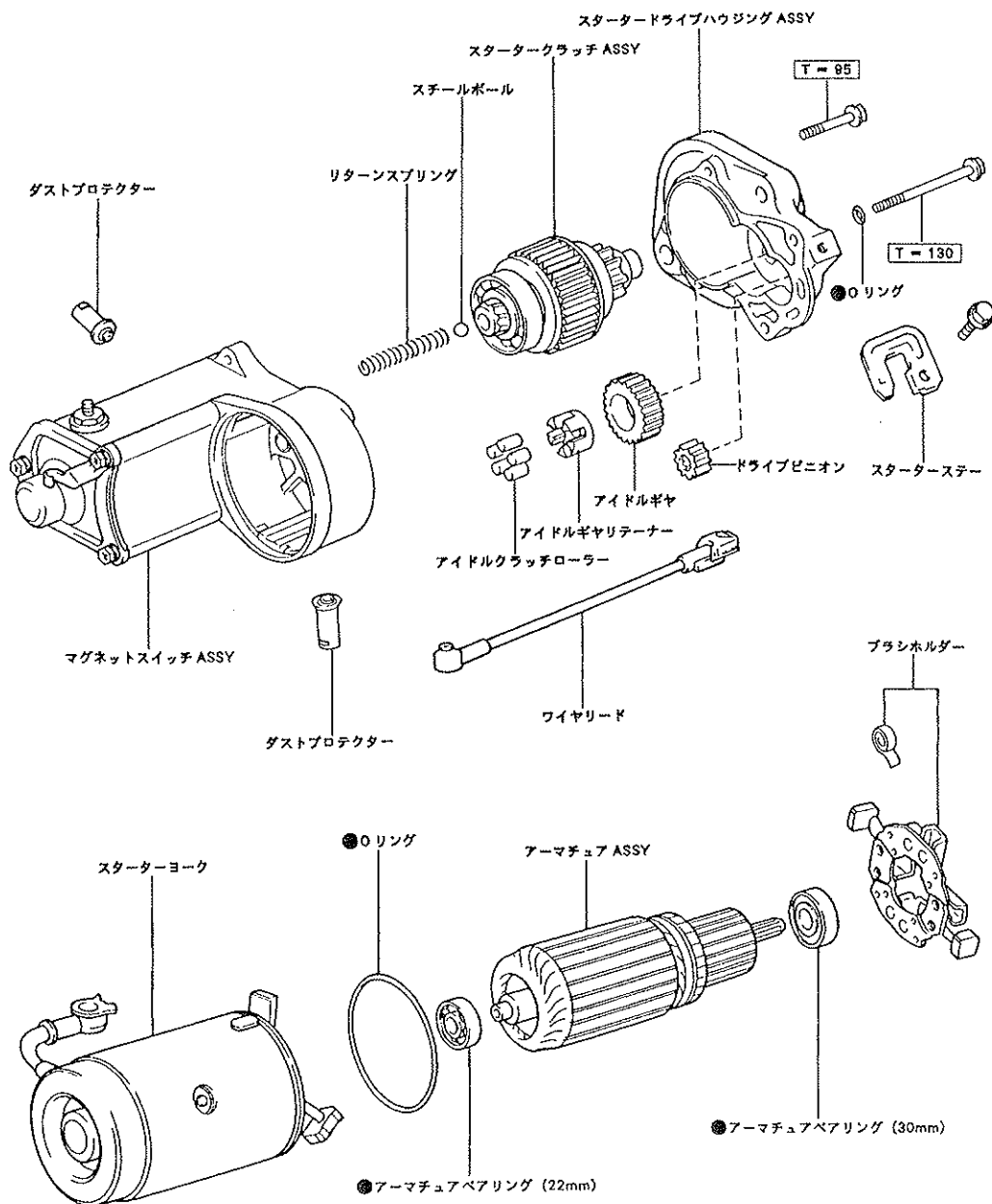
5 スターティングシステム

準備品	5 - 2
スターター	5 - 4
2.2kw	5 - 4
分解構成図	5 - 4
スターター点検	5 - 5
スターター分解	5 - 6
構成部品点検, 交換	5 - 7
スターター組み付け	5 - 11
2.7kw	5 - 13
分解構成図	5 - 13
スターター点検	5 - 14
スターター分解	5 - 15
構成部品点検, 交換	5 - 16
スターター組み付け	5 - 20

スターター

2.2kw

分解構成図



●……再使用不可部品

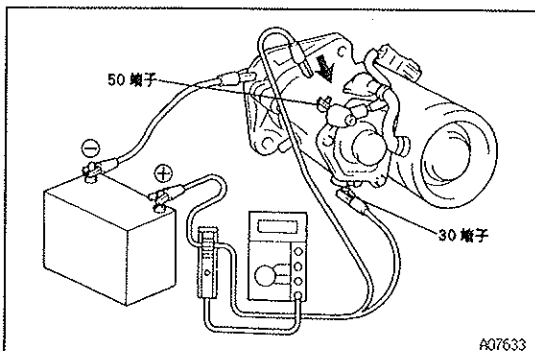
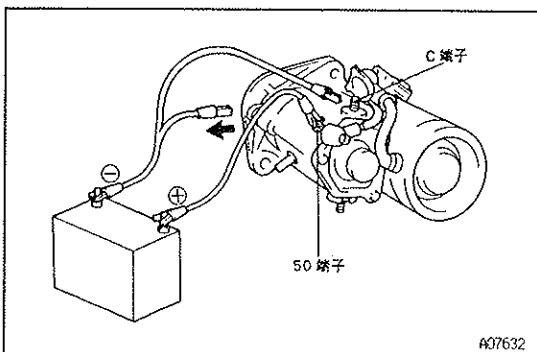
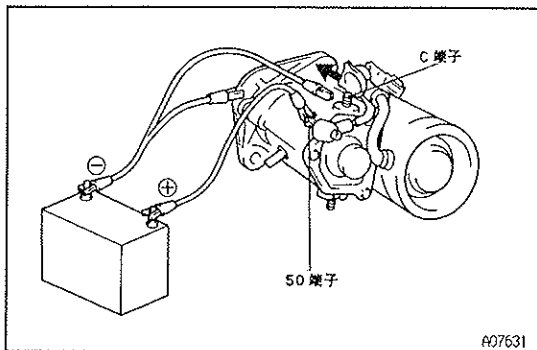
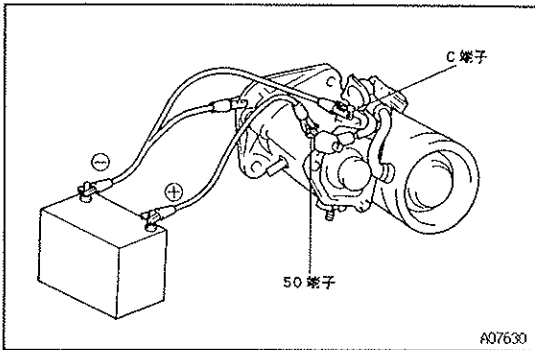
□……締め付けトルク (kg・cm)

スターター点検

注意 各テストは短時間（3～5秒）で行う。

1 作動点検

- (1) C端子のハーネスを切り離す。
- (2) 図のように結線したときピニオンギヤが飛び出すことを確認する。



- (3) (2)の状態からC端子のケーブルを離した後も、ピニオンギヤが飛び出した状態のままであることを確認する。

- (4) (3)の状態からスターターボデーのケーブルをはずしたとき、ピニオンが戻ることを確認する。
- (5) C端子にハーネスを接続する。

- (6) スターターをバイスなどに固定する。
- (7) 図のようにケーブルおよびトヨタ電気カルテスターを結線する。

注意 ・大電流が流れるので、太いケーブルを使用する。
 ・50端子には結線しない。

- (8) 50端子を接続しテスターの指示が安定したところで電流値を測定する。

基準値 120A 以下

スターター分解

1 C 端子ハーネス切り離し

2 スタータードライブハウジング W/クラッチ ASSY 取りはずし

- (1) ボルト 2 本を取りはずす。
- (2) ボルトから、O リングを取りはずす。

- (3) スクリュー 2 本を取りはずす。
- (4) ワイヤリードを取りはずす。
- (5) スターターステアを取りはずす。

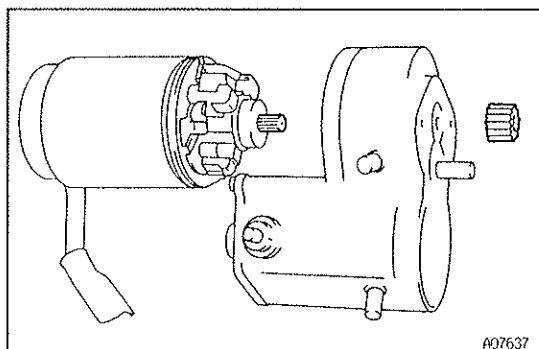
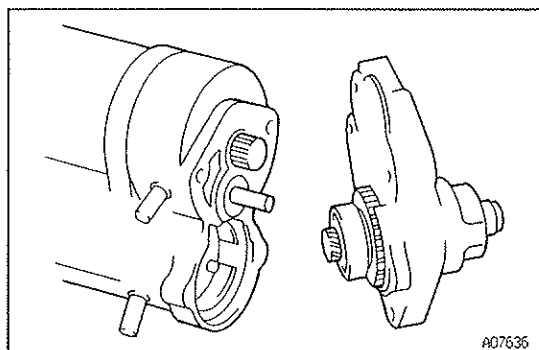
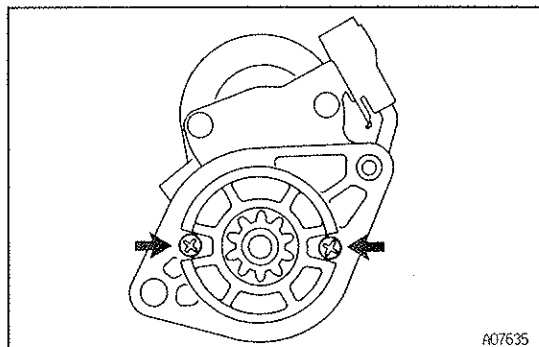
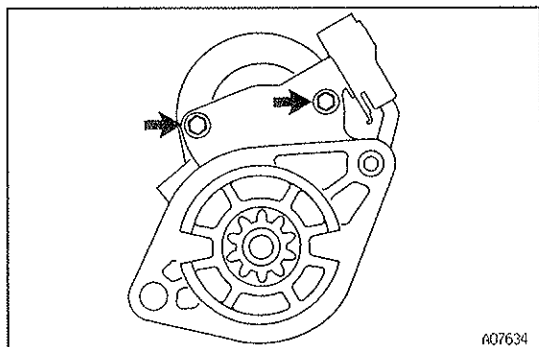
- (6) マグネットスイッチ ASSY から、スタータードライブハウジング W/クラッチ ASSY を取りはずす。

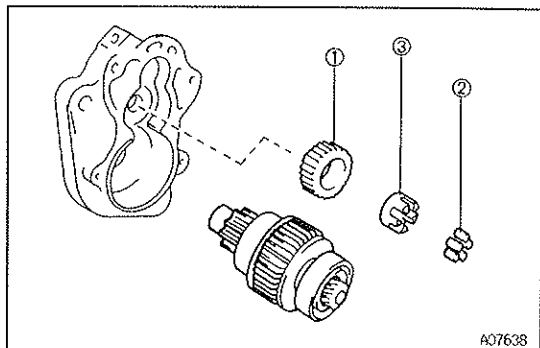
注意 スターターヨーク W/アーマチュア ASSY が抜け落ちる場合があるので押さえておく。

3 スターターヨーク W/アーマチュア ASSY 取りはずし

- (1) ドライブピニオンを取りはずす。
- (2) スターターマグネット ASSY から、スターターヨーク W/アーマチュア ASSY を取りはずす。
- (3) スターターヨークから、O リングを取りはずす。

5



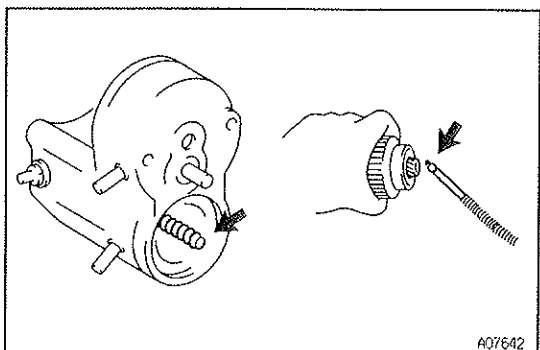


4 アイドルギヤ、アイドルギヤクラッチローラーおよびアイドルギヤリターナー取りはずし

(1) スタータードライブハウジング ASSY から、次の部品を取りはずす。

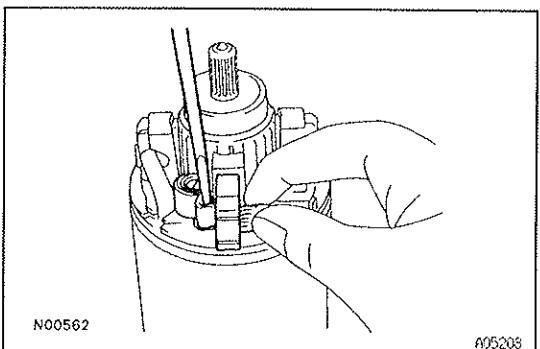
- ① アイドルギヤ
- ② アイドルギヤクラッチローラー
- ③ アイドルギヤリターナー

5 スタータークラッチ ASSY 取りはずし



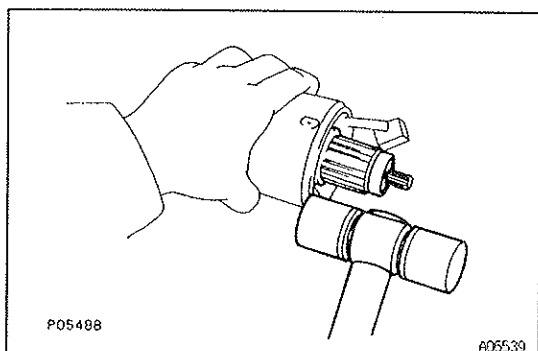
6 スチールボールおよびリターンスプリング取りはずし

(1) スタータークラッチ ASSY から、スチールボールを取りはずす。
 (2) マグネットスイッチ ASSY から、リターンスプリングを取りはずす。



7 ブラシホルダー取りはずし

(1) ブラシスプリングをドライバーなどで起こし、ブラシを取りはずす。
 (2) ブラシホルダーを、スターターヨークから取りはずす。



8 アーマチュア取りはずし

(1) プラスチックハンマーを使用してスターターヨーク端をたたき、アーマチュアをスターターヨークから取りはずす。

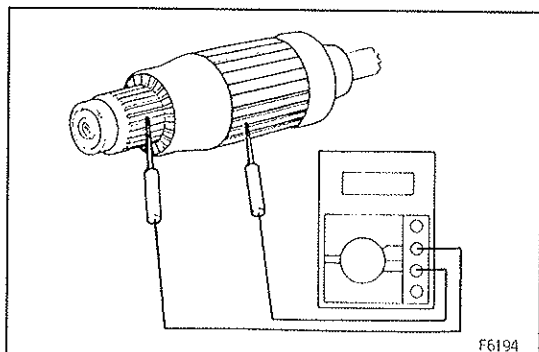
9 ダストプロテクター取りはずし

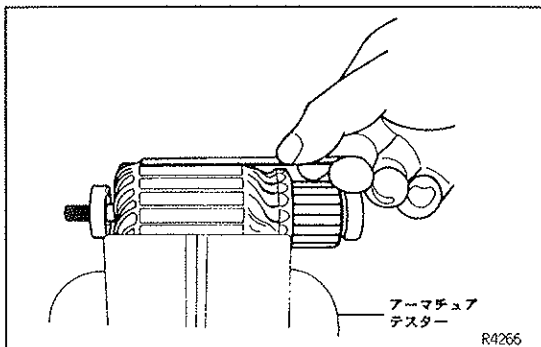
構成部品点検、交換

1 アーマチュアコイル点検

(1) トヨタ電気カルテスターを使用して、コンミュテーター ↔ アーマチュアコイルコア間の抵抗を測定する。

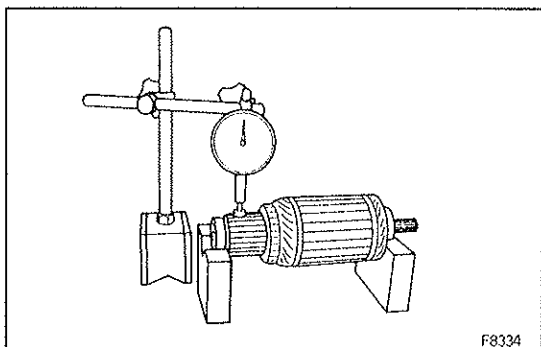
基準 10MΩ以上





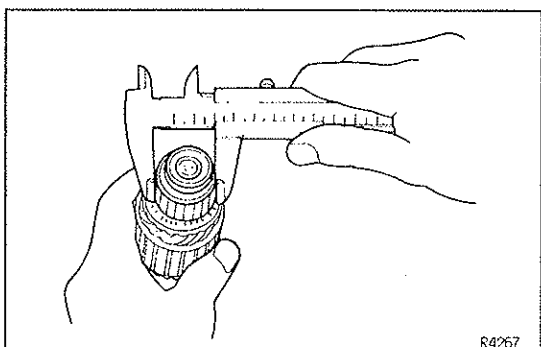
- (2) アーマチュアテスターを使用して、シックネスゲージをコアに当てながらアーマチュアを回転させる。

基準 シックネスゲージが吸引または振動を起こさない



- (3) Vブロックで両端を支え、ダイヤルゲージと平座形測定子を使用して振れを測定する。

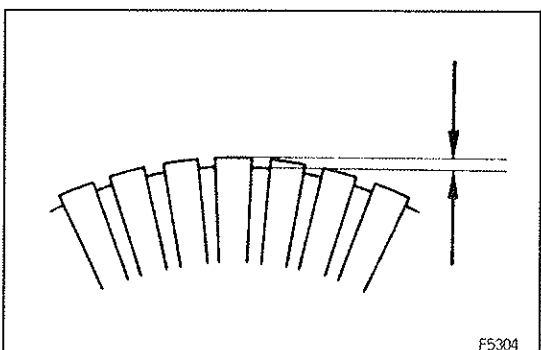
限度 0.05mm



- (4) コミュテーターの外径を測定する。

基準値 35mm

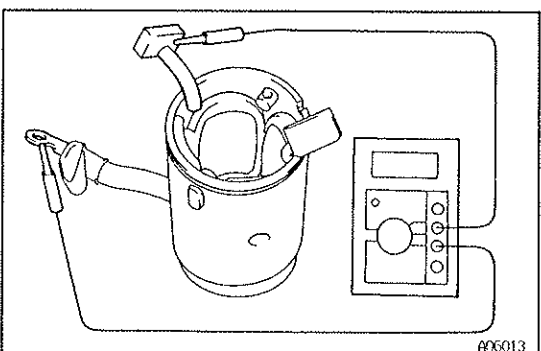
限度 34mm



- (5) セグメント間のアンダーカットの深さを測定する。

基準値 0.7mm

限度 0.2mm

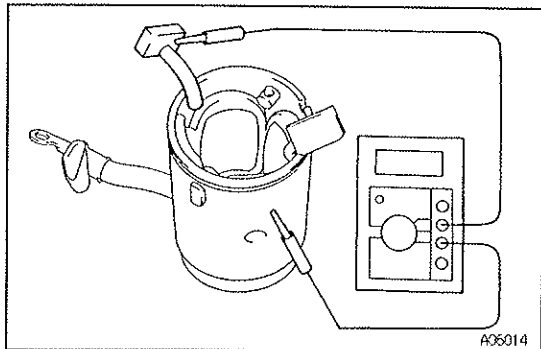


2 フィールドコイル点検

- (1) トヨタ電気カルテスターを使用して、フィールドコイルのブラシ⇔C端子ハーネス間の導通の有無を確認する。

基準 導通あり

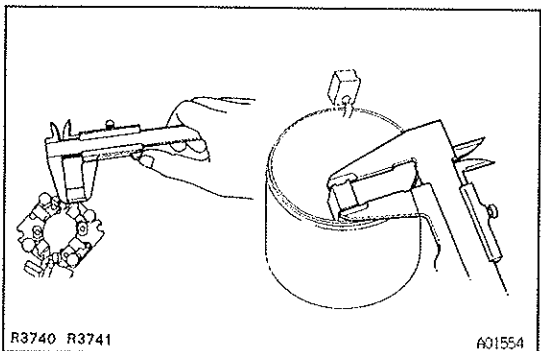
注意 ブラシは両側点検する。



- (2) トヨタエレクトリカルテスターを使用して、フィールドコイルブラシ⇔スターターヨーク間の抵抗を測定する。

基準 10MΩ以上

注意 ブラシは両側点検する。



3 ブラシ点検

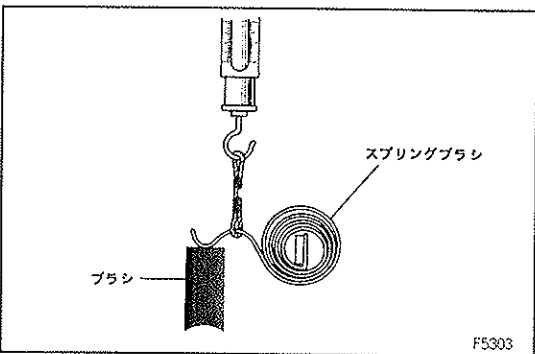
- (1) ブラシ中央部の長さを測定する。

基準値 16.5~17.0mm

限度 9mm

- (2) 当たり面の修正はサンドペーパー (#400) をコンミュテーターに巻き行う。

5

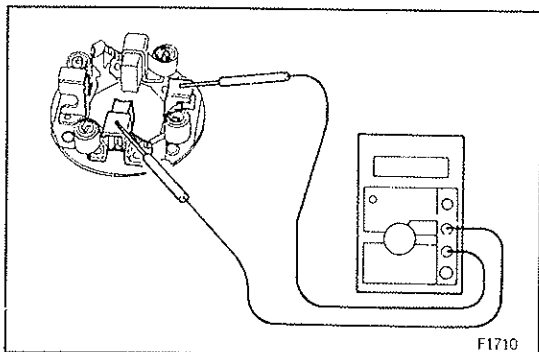


4 ブラシスプリング取り付け荷重点検

- (1) バネばかりを使用して、スプリングがブラシから離れる瞬間の荷重を測定する。

基準値 2700~3300g

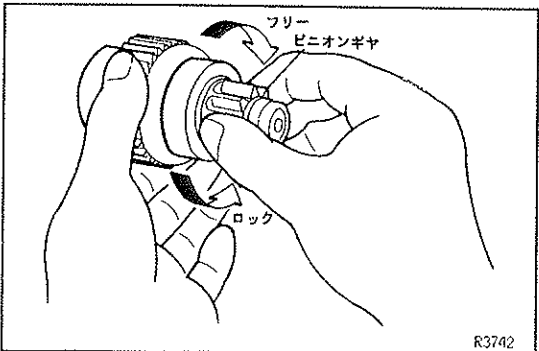
限度 1800g



5 ブラシホルダー点検

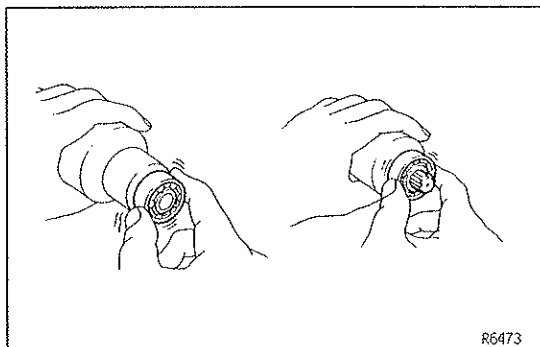
- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して、⊕側ブラシホルダー⇔⊖側ブラシホルダー間の抵抗を測定する。

基準 10MΩ以上



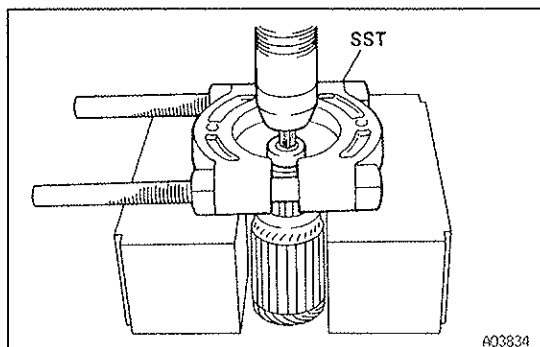
6 スタータークラッチ ASSY 点検

- (1) ピニオンギヤを左に回転させたときロックし、右に回転させたとき滑らかに回転することを確認する。
- (2) ベアリングを回転させたとき異音、引っ掛かりのないことを確認する。



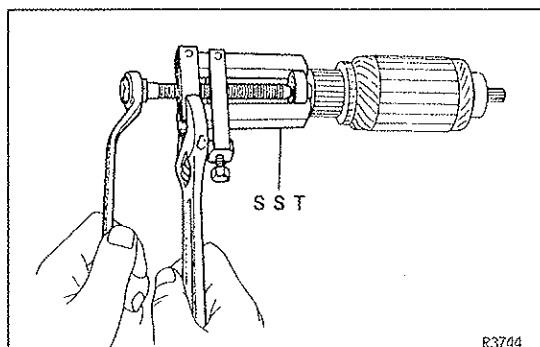
7 アーマチュアベアリング点検, 交換

- (1) フロントおよびリヤ側のベアリングを回転させたとき, 異音および引っ掛かりのないことを確認する。



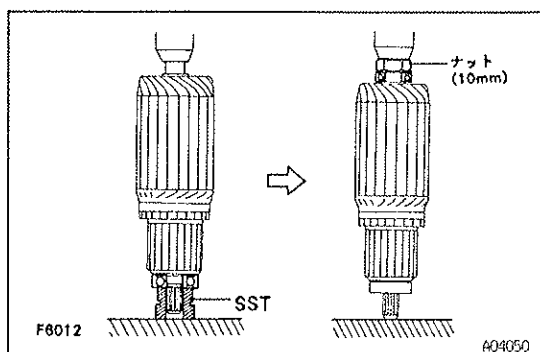
- (2) SST およびプレスを使用して, フロント側 (外径 30mm) のベアリングを取りはずす。

S S T 09950-00020



- (3) SST を使用して, リヤ側 (外径 22mm) のベアリングを取りはずす。

S S T 09286-46011



- (4) SST およびプレスを使用して, フロント側 (外径 30mm) のベアリングを取り付ける。

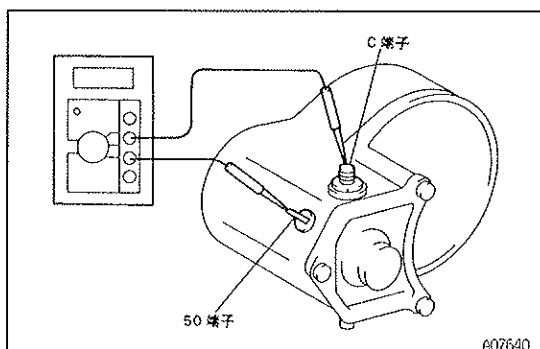
S S T 09253-10010

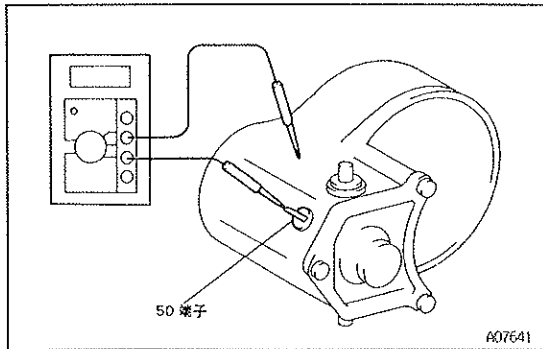
- (5) ナット (10mm) およびプレスを使用して, リヤ側 (外径 22mm) のベアリングを取り付ける。

8 マグネットスイッチ点検

- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して, 50 端子↔C 端子間の導通の有無を確認する。

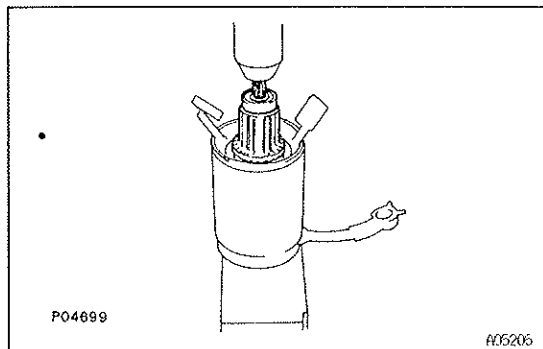
基 準 導通あり





- (2) トヨタエレクトリカルテスターを使用して、50 端子⇔マグネットスイッチボデー間の導通の有無を確認する。

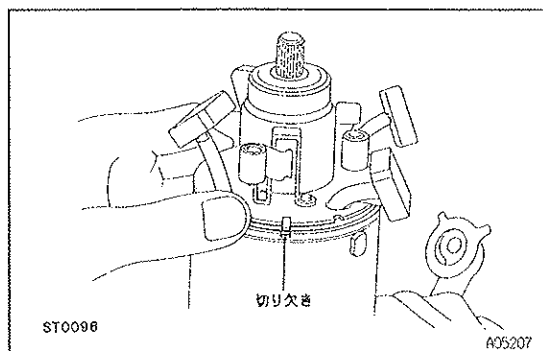
基 準 導通あり



スターター組み付け

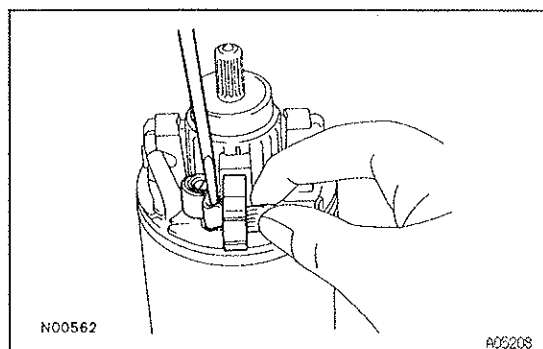
1 アーマチュア取り付け

- (1) アーマチュアベアリングにデンソー 50 号グリースを塗布後、スターターヨークにアーマチュアを挿入する。
- (2) プレスを使用して、アーマチュアをスターターヨークに圧入する。

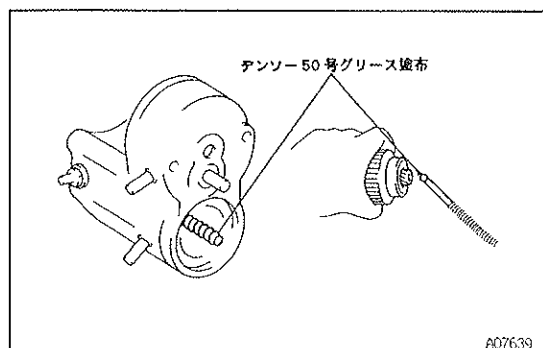


2 ブラシホルダー取り付け

- (1) ブラシホルダーの突起とヨークの切り欠きを合わせて、ブラシホルダーをヨークにセットする。

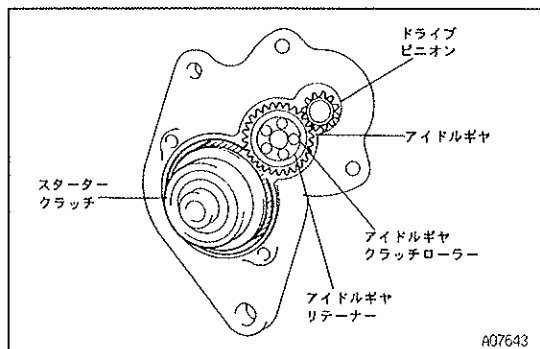


- (2) ブラシスプリングをドライバーなどで起こし、ブラシを取り付ける。



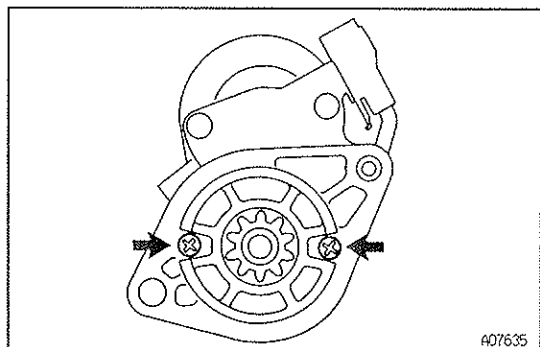
3 スチールボールおよびリターンスプリング取り付け

- (1) スチールボールにデンソー 50 号グリースを塗布し、スタータークラッチ ASSY のシャフト穴に取り付ける。
- (2) リターンスプリングにデンソー 50 号グリースを塗布し、マグネットスイッチ ASSY に取り付ける。



4 アイドルギヤ、アイドルギヤリターナー、アイドルギヤクラッチローラー、ドライブピニオンおよびスタータークラッチ ASSY 取り付け

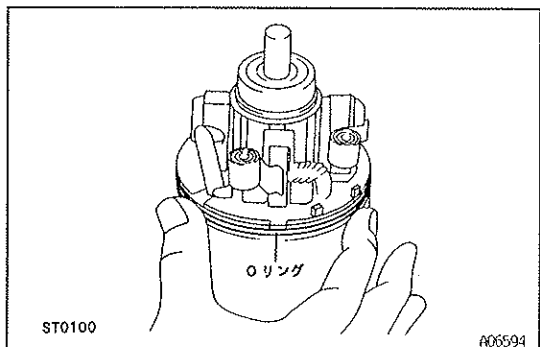
- (1) アイドルギヤ、アイドルギヤリターナー、アイドルギヤクラッチローラー、ドライブピニオンおよびスタータークラッチ ASSY のギヤにデンソー 50 号グリースを塗布する。
- (2) アイドルギヤリターナー W/クラッチローラーを取り付ける。
- (3) スタータークラッチ ASSY を取り付ける。



5 スタータードライブハウジング取り付け

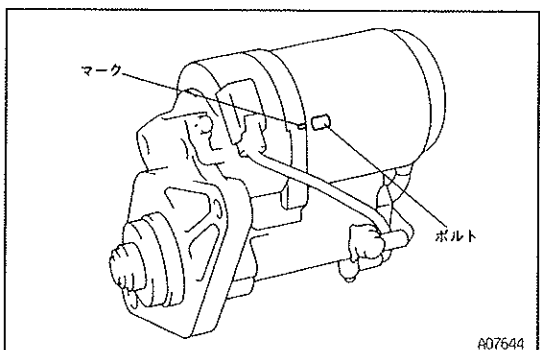
- (1) スクリュー 2 本でドライブハウジングを、マグネットスイッチ ASSY に取り付け。

T=95kg・cm



6 スターターヨーク W/アーマチュア ASSY 取り付け

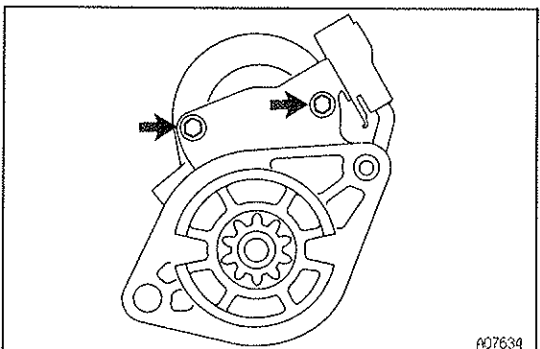
- (1) スターターヨークに、新品の O リングを取り付ける。



- (2) マグネットスイッチ ASSY のマークとスターターヨークのボルトを合わせ、スターターヨーク W/アーマチュア ASSY をマグネットスイッチに挿入する。

注意 ドライブピニオンとアーマチュアシャフトを確実にはめ込む。

- (3) スターターステータを取り付ける。
- (4) ワイヤリードを取り付ける。



- (5) ボルト 2 本に新品の O リングを取り付ける。

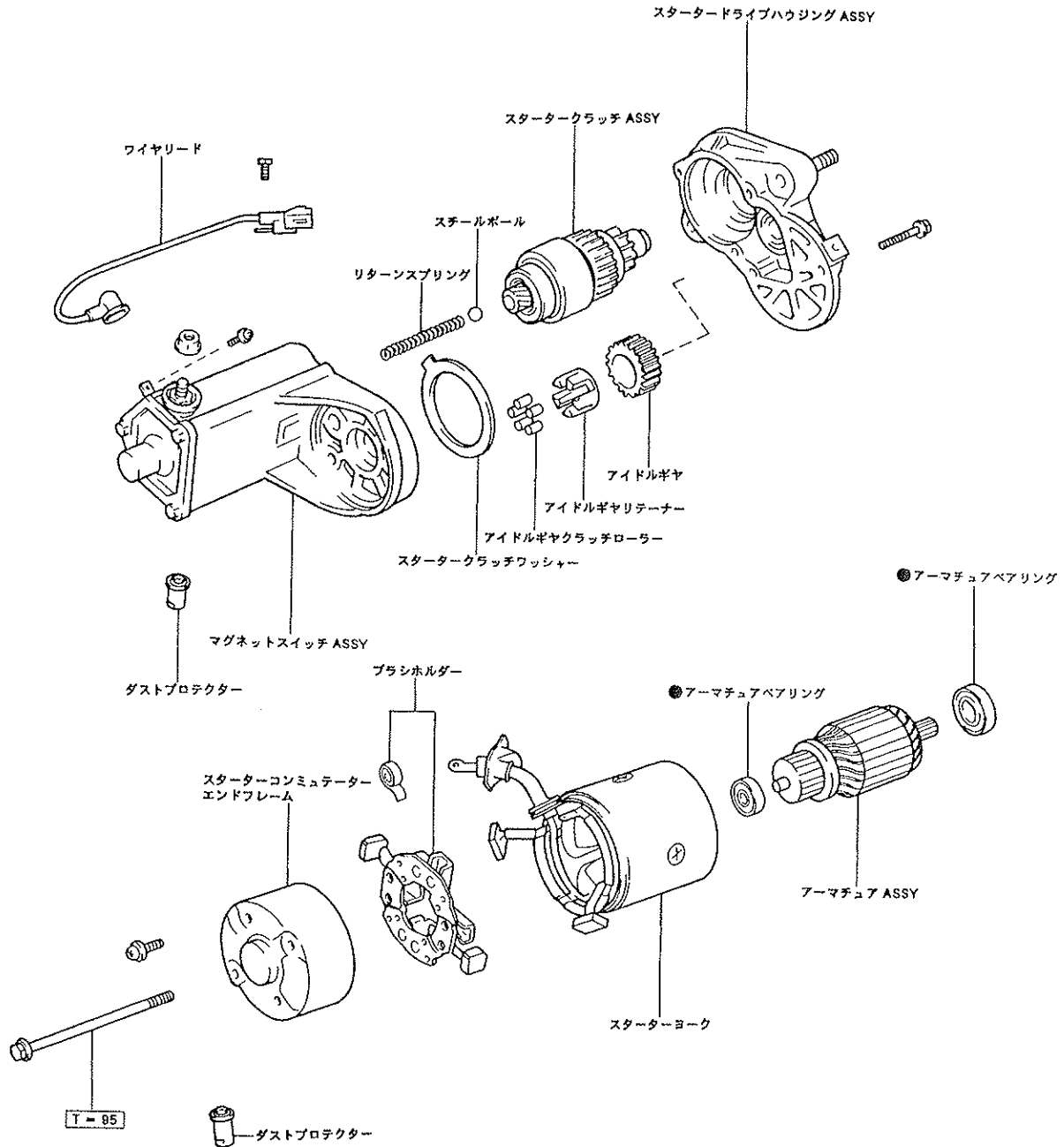
- (6) ボルト 2 本でスターターヨーク W/アーマチュア ASSY を取り付け。

T=130kg・cm

- 7 ダストプロテクター取り付け
- 8 C 端子ハーネス取り付け
- 9 スターター点検

2.7kw

分解構成図



●.....再使用不可部品

.....締め付けトルク (kg・cm)

スターター点検

注意 各テストは短時間（3～5秒）で行う。

1 作動点検

- (1) C 端子のハーネスを切り離す。
- (2) 図のように結線したときピニオンギヤが飛び出すことを確認する。

- (3) (2)の状態から C 端子のケーブルを離した後も、ピニオンギヤが飛び出した状態のままであることを確認する。

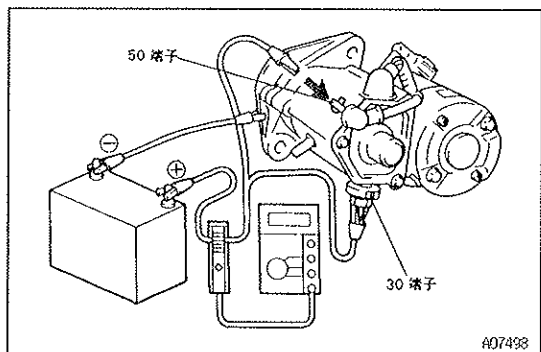
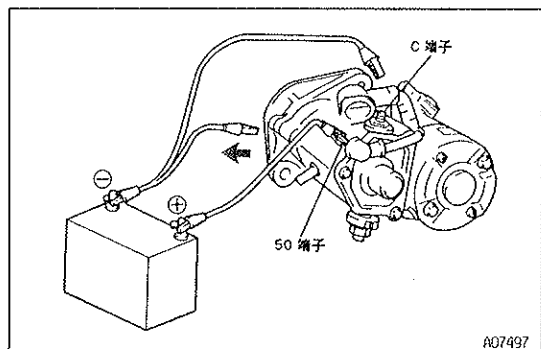
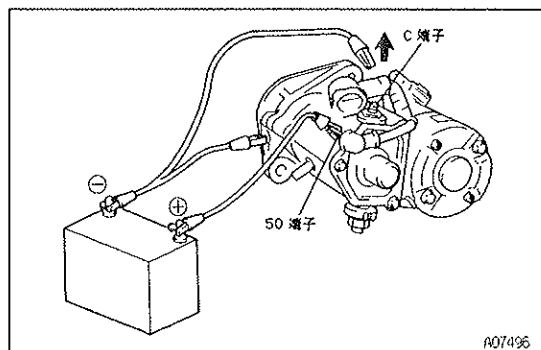
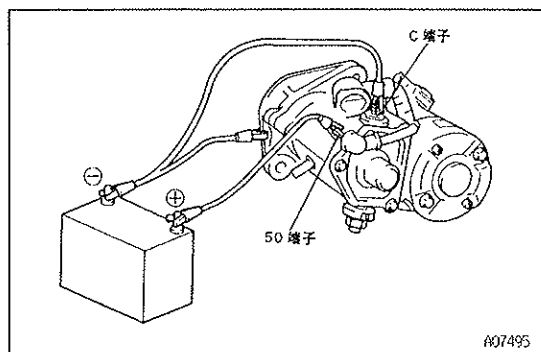
- (4) (3)の状態からスターターボデーのケーブルをはずしたとき、ピニオンが戻ることを確認する。
- (5) C 端子にハーネスを接続する。

- (6) スターターをバイスなどに固定する。
- (7) 図のようにケーブルおよびトヨタ電気リカルテスターを結線する。

注意 ・大電流が流れるので、太いケーブルを使用する。
 ・50 端子には結線しない。

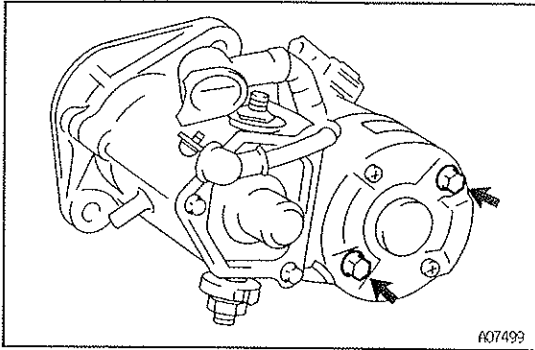
- (8) 50 端子を接続しテスターの指示が安定したところで電流値を測定する。

基準値 180A 以下



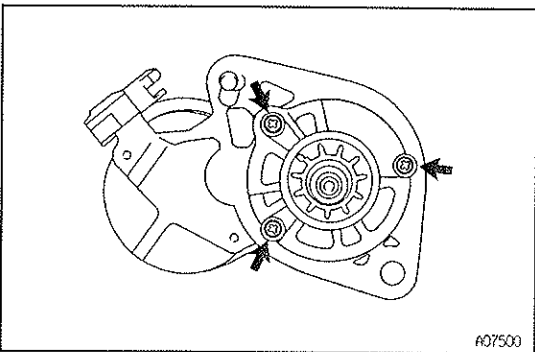
スターター分解

1 C端子ハーネス切り離し



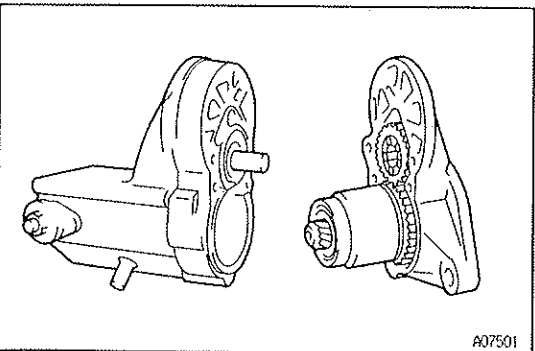
2 スタータードライブハウジング W/クラッチ ASSY 取りはずし

(1) スルーボルト 2本を取りはずす。



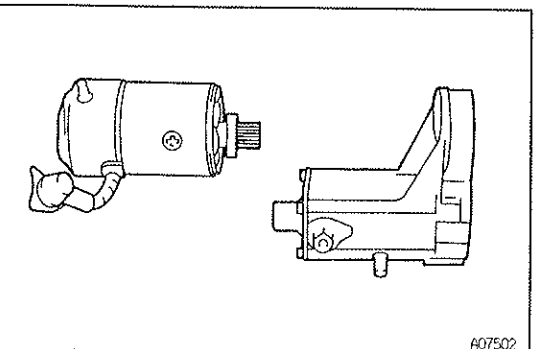
(2) スクリュー 3本を取りはずす。

(3) ワイヤリードを取りはずす。



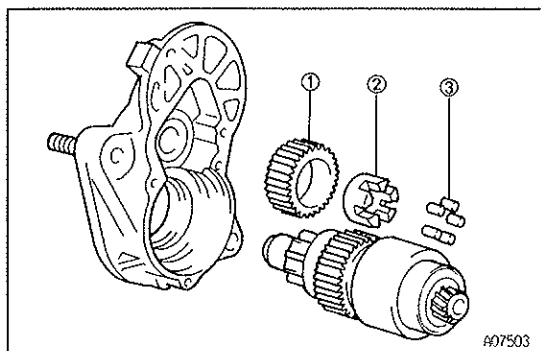
(4) マグネットスイッチ ASSY からスタータードライブハウジング W/クラッチ ASSY を取りはずす。

注意 スターターヨーク W/アーマチュア ASSY, スタータークラッチ ASSY, アイドルギヤ, アイドルギヤリテーナー, アイドルギヤクラッチローラーが抜け落ちる場合があるので押さえておく。



3 スターターヨーク W/アーマチュア ASSY 取りはずし

(1) スターターマグネットスイッチ ASSY からスターターヨーク W/アーマチュア ASSY を取りはずす。

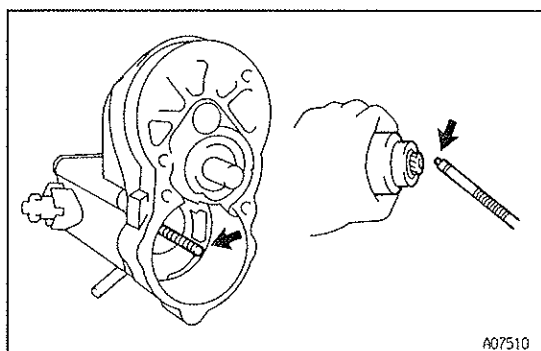


4 アイドルギヤ、アイドルギヤリテナーおよびアイドルギヤクラッチローラー取りはずし

(1) スタータードライブハウジング ASSY から次の部品を取りはずす。

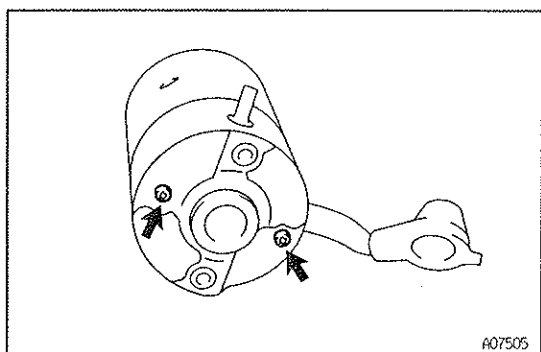
- ① アイドルギヤ
- ② アイドルギヤリテナー
- ③ アイドルギヤクラッチローラー

5 スタータークラッチ ASSY 取りはずし



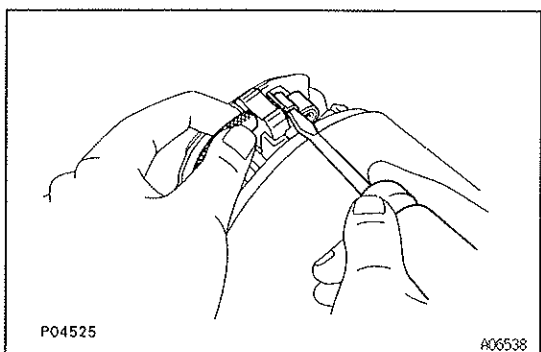
6 スチールボールおよびリターンスプリング取りはずし

- (1) スタータークラッチ ASSY からスチールボールを取りはずす。
- (2) マグネットスイッチ ASSY からリターンスプリングを取りはずす。



7 ブラシホルダー取りはずし

- (1) スクリュー 2 本をはずして、スターターヨークからコンミューターエンドフレームを取りはずす。



(2) ブラシスプリングをドライバーなどで起こし、ブラシを取りはずす。

(3) ブラシホルダーをスターターヨークから取りはずす。

8 アーマチュア取りはずし

- (1) スターターヨークからアーマチュアを取りはずす。

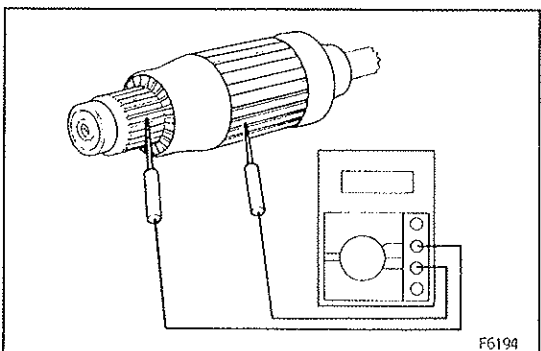
9 ダストプロテクター取りはずし

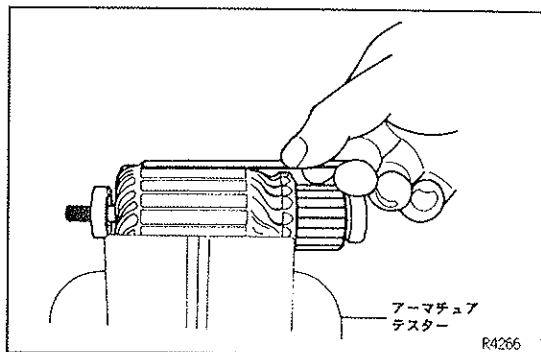
構成部品点検, 交換

1 アーマチュアコイル点検

- (1) トヨタ電気カルテスターを使用して、コンミューター ↔ アーマチュアコイルコア間の抵抗を測定する。

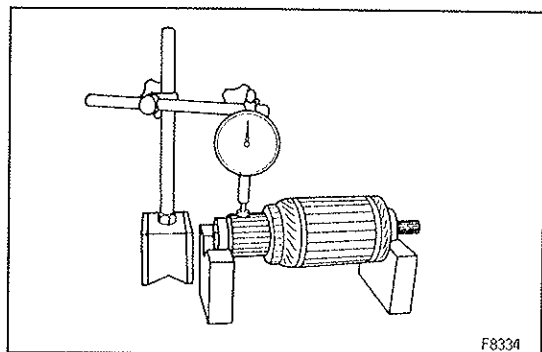
基準 10MΩ 以上





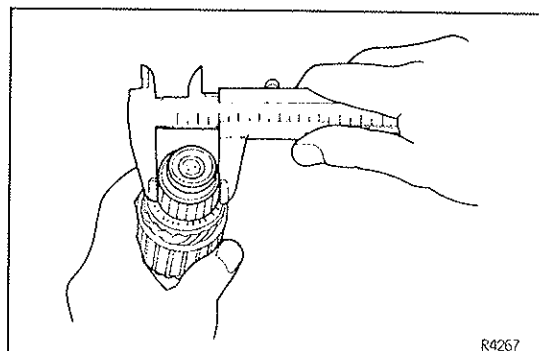
- (2) アーマチュアテスターを使用して、シックネスゲージをコアに当てながらアーマチュアを回転させる。

基 準 シックネスゲージが吸引または振動を起こさない



- (3) V ブロックで両端を支え、ダイヤルゲージと平座形測定子を使用して振れを測定する。

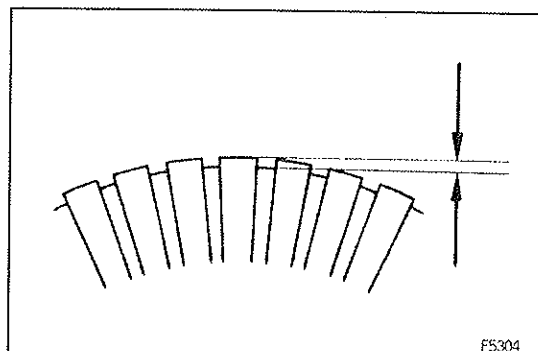
限 度 0.05mm



- (4) コミュテーターの外径を測定する。

基準値 36mm

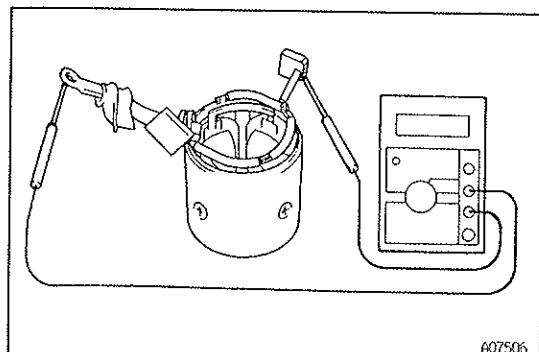
限 度 35mm



- (5) セグメント間のアンダーカットの深さを測定する。

基準値 0.7mm

限 度 0.2mm

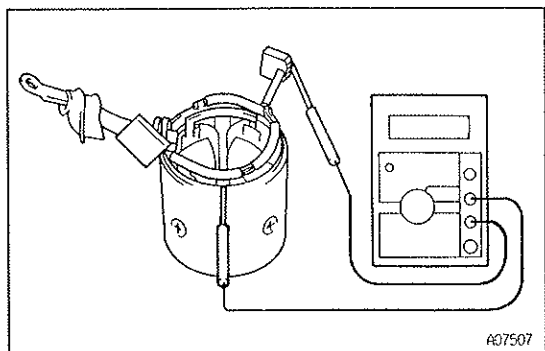


2 フィールドコイル点検

- (1) トヨタ電気カルテスターを使用して、フィールドコイルのブラシ⇔C 端子ハーネス間の導通の有無を確認する。

基 準 導通あり

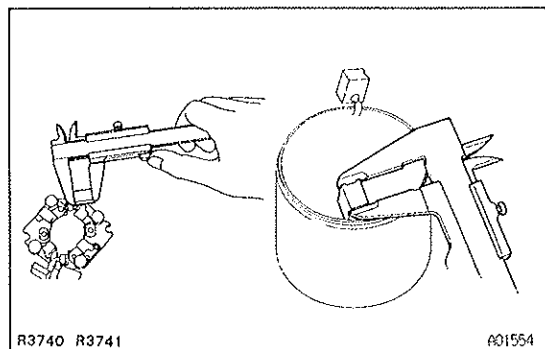
注意 ブラシは両側点検する。



- (2) トヨタエレクトリカルテスターを使用して、フィールドコイル
ブラシ⇔スターターヨーク間の抵抗を測定する。

基 準 10MΩ以上

注意 ブラシは両側点検する。



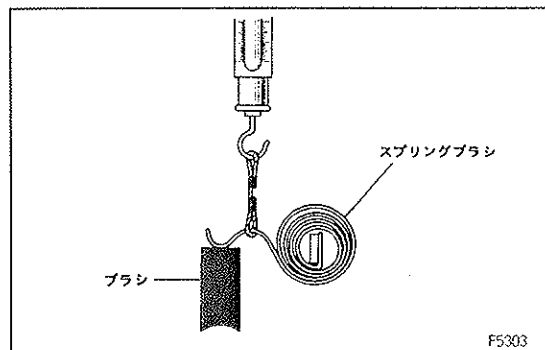
3 ブラシ点検

- (1) ブラシ中央部の長さを測定する。

基準値 20.5mm

限 度 13.0mm

- (2) 当たり面の修正はサンドペーパー（#400）をコンミュテーター
に巻き行う。

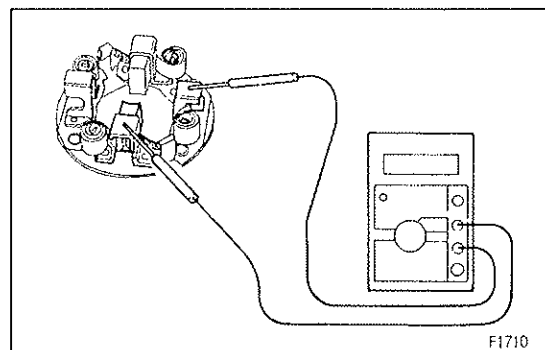


4 ブラシスプリング取り付け荷重点検

- (1) バネばかりを使用して、スプリングがブラシから離れる瞬間の
荷重を測定する。

基準値 3300～3900g

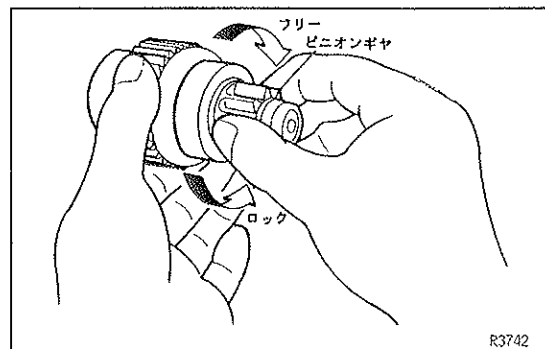
限 度 1900g



5 ブラシホルダー点検

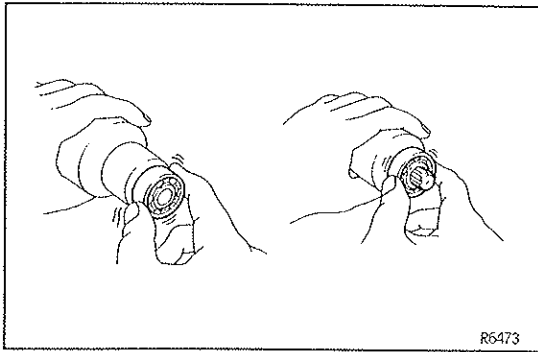
- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して、⊕側ブラシホル
ダー⇔⊖側ブラシホルダー間の抵抗を測定する。

基 準 10MΩ以上



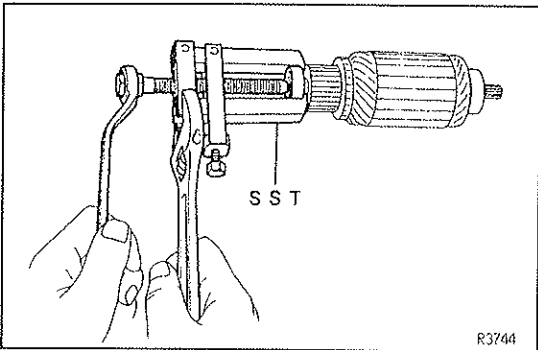
6 スタータークラッチ ASSY 点検

- (1) ピニオンギヤを左に回転させたときロックし、右に回転させた
とき滑らかに回転することを確認する。
- (2) ベアリングを回転させたとき異音、引っ掛かりのないことを確
認する。

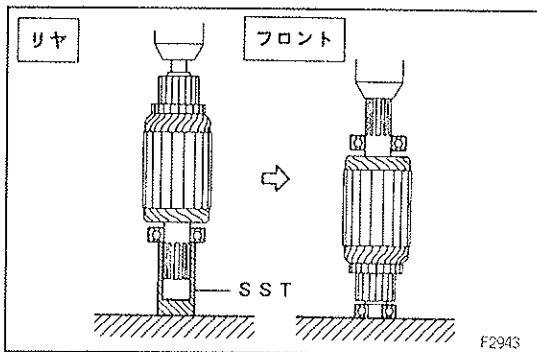


7 アーモチュアベアリング点検, 交換

- (1) フロントおよびリヤ側のベアリングを回転させたとき, 異音および引っ掛かりのないことを確認する。



- (2) SST を使用して, フロントおよびリヤベアリングを取りはずす。
S S T 09286-46011

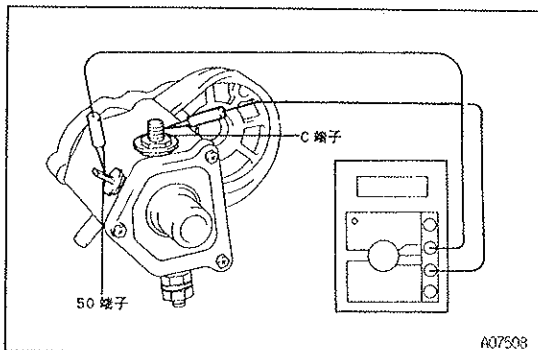


- (3) SST およびプレスを使用して, 新品のフロントおよびリヤベアリングを取り付ける。
S S T 09820-00030

8 マグネットスイッチ点検

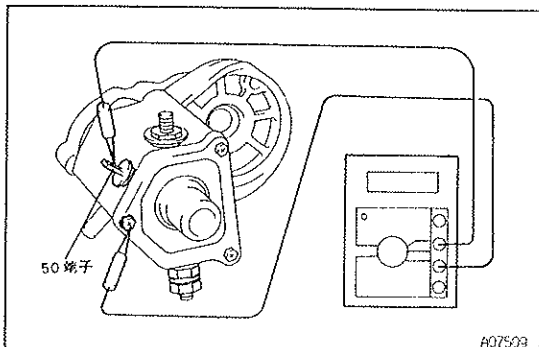
- (1) トヨタ電気カルテスターを使用して, 50 端子↔C 端子間の導通の有無を確認する。

基 準 導通あり



- (2) トヨタ電気カルテスターを使用して, 50 端子↔マグネットスイッチボデー間の導通の有無を確認する。

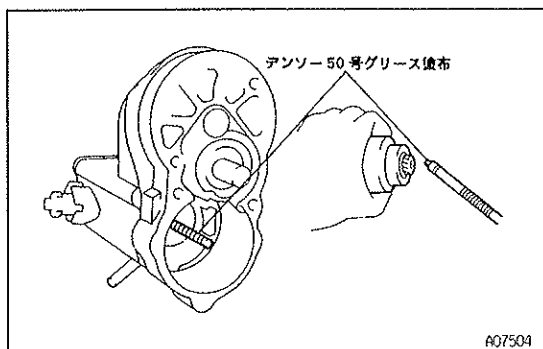
基 準 導通あり



スターター組み付け

1 スチールボールおよびリターンスプリング取り付け

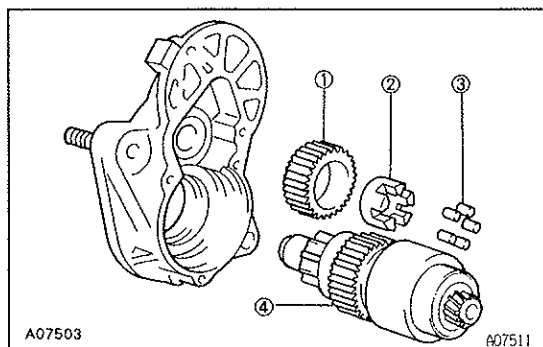
- (1) スチールボールにデンソー 50 号グリースを塗布し、スタータークラッチ ASSY のシャフト穴へ取り付け。
- (2) リターンスプリングにデンソー 50 号グリースを塗布し、マグネットスイッチ ASSY に取り付け。



2 アイドルギヤ、アイドルギヤリターナー、アイドルギヤクラッチローラーおよびスタータークラッチ ASSY 取り付け

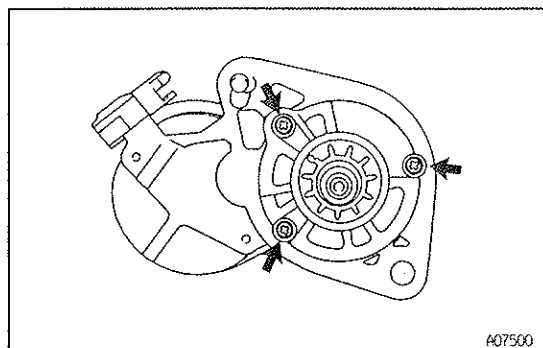
- (1) 次の部品にデンソー 50 号グリースを塗布し、スタータードライブハウジングに取り付ける。

- ① アイドルギヤ
- ② アイドルギヤリターナー
- ③ アイドルギヤクラッチローラー
- ④ スタータークラッチ ASSY



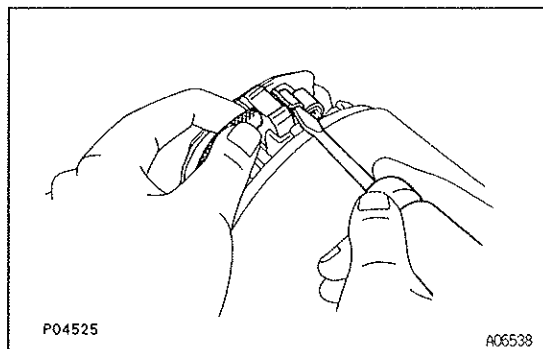
3 スタータードライブハウジング取り付け

- (1) ドライブハウジングをマグネットスイッチ ASSY に取り付け、スクリュー 3 本で締め付ける。



4 アーマチュア取り付け

- (1) アーマチュアベアリングにデンソー 50 号グリースを塗布後、スターターヨークにアーマチュアを挿入する。

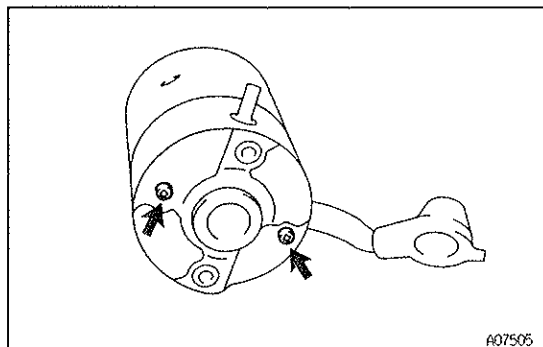


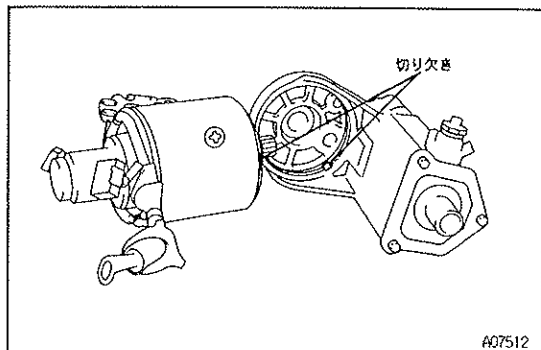
5 ブラシホルダー取り付け

- (1) ブラシホルダーにブラシスプリングを取り付ける。
- (2) ブラシホルダーをアーマチュアに取り付ける。
- (3) ブラシスプリングを起こし、ブラシをブラシホルダーに取り付ける。

6 コミュテーターエンドフレーム取り付け

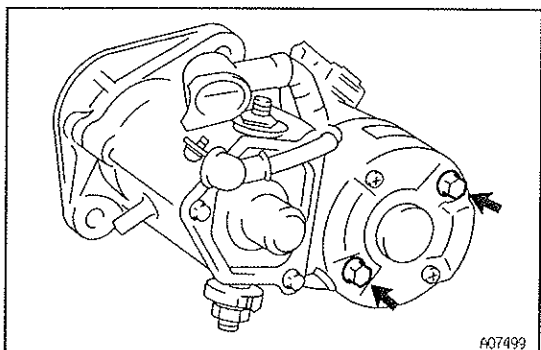
- (1) コミュテーターエンドフレームをスクリュー 2 本でスターターヨークに取り付ける。





7 スターターヨーク W/アーマチュア取り付け

- (1) スターターヨークとマグネットスイッチの切り欠きを合わせ、スターターヨーク W/アーマチュアをマグネットスイッチに取り付ける。



- (2) スルーボルト 2本を取り付ける。

T=95kg・cm

- (3) ワイヤリードを取り付ける。

8 ダストプロテクター取り付け

9 C 端子ハーネス接続

10 スターター点検